

九条東小学校の今後の学校再編に向けた説明会【会議録】

1 日時

令和5年11月8日（水） 19時00分～21時15分

2 場所

九条東小学校体育館

3 参加者

地域・保護者等の方々 46名

4 説明者及び関係者

【西区役所】

三村 西区長

村上 西区副区長

玉置 西区役所教育担当課長

藤本 西区役所教育担当課長代理 外7名

【教育委員会事務局】

山東 総務部学校適正配置担当課長

岡永 総務部学事課学校適正配置担当課長代理 外3名

【九条東連合振興町会】

杉村 九条東連合振興町会長 外5名

【学校関係者】

大呂 九条東小学校長

5 説明会の概要

- (1) 三村 西区長よりご挨拶
- (2) 玉置 西区役所教育担当課長より資料説明
- (3) 質疑応答

6 質疑応答の内容

①（九条東地域の方）

・先日の九条東小学校の説明会も参加させていただいたんですけども、今回のご説明でちょっとすいません聞き逃しがなかったかご確認したんですけども、今の現状のご説明ですと、次の新1年生が6年生になるときに統合が予定されてるってことで認識間違いなかったでしょうか。

（玉置 西区役所教育担当課長）

・はい、おっしゃる通りでございます。

（九条東地域の方）

・あと、この再編時の学校のところについてなんですけども、九条東小学校が九条南小学校と九条北小学校に半々で分かれるということですかね。

（玉置 西区役所教育担当課長）

・失礼いたします。14ページに記載してございますけれども、先ほど申し上げました九条東連合さんの管轄、九条北連合さんの管轄と分けさせていただきたい案でございますので、半々というふうな形では現状ございません。

（九条東地域の方）

・ありがとうございます。すいません最後にちょっと質問が多くて申し訳ないんですけども、先日ご説明いただいたときに、とりあえず統合の予定は今後数年内ってことはないということでお伺いしてたのでちょっと安心してたんですけども、次の新1年生が6年生になる時に統合がもう決定されているということで、それまでの統合が決定しているということによって、新1年生が卒業するまでの間に、極端に配置の教員が減るであるとか、教育体制がちょっと変更になるとかそういったことはございますでしょうか。

（玉置 西区役所教育担当課長）

・はい、ご質問ありがとうございます。おっしゃっておられますように令和11年の予定ということで今考えてございます。それまでの間ということになりますけれども、まず一般的に子どもの数が減ったりですね、学級が減ってまいりますと、教員の数が減るとというのが、学級の数をもとに教員の数が配置されてますので、ルールになってございますが、こういった状況であったにもかかわらず、私どもとしては、引き続き九条東小学校さんの教育を何とか維持に努

めていきたいと思っておりますので、学校の先生の数につきましては、引き続き、加配と申しますけれども、プラスアルファで何とか措置をしていって、確保して、子どもたちに影響が起きないように、1つの学年に1人の担任の先生がちゃんと配置できるように、確保してまいりたいというふうに思っております。

(山東 教育委員会事務局総務部学校適正配置担当課長)

・補完をさせていただきます。教育委員会事務局の山東といいます。

今、玉置課長の方から説明ありましたが、非常にご不安になられてるところもあるかと思えます。九条東の児童の数が、減っていくのではないかというようなことも、懸念されてるかと思うんですけども、先ほど区役所のほうからも説明がありましたように、インセンティブ制度の予算を活用するなり、我々教育委員会の方も区役所と連携をして、現状の教員体制っていうのを、構築するよう連携を強化していきますので、よろしく願いいたします。

② (九条北地域の方)

・北の学区ですけど、ちょっとあの表の数え方を教えて欲しいんですけども、15ページの最後336と254足したら、これ580か590ぐらいになるんですけども、何かこの数字ってどういうふうに解釈したらいいんですかね。この数字達しない。私はアホなのかもしれない。数はちょっとよう読めんのですわ。東が57で足したらこんな数字になるのかな。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・すみません、失礼いたします。ご質問ありがとうございます。ちょっと私の説明不足だったかと思えます。申し訳ございません。15ページ今のご質問でございますけれども、15ページの矢印下に矢印を向けてあるすぐ上に、カッコで書いてございます。カッコのところに、丸が二つございますが、その2つ目の丸でございます。今ご質問ございましたように、11ページから12ページにかけて3つの小学校単体で、それぞれの推計の人数よりも、この15ページの336人、254人という数字の方が上回ってるという状況でございます。その主な理由でございますけれども、まず、この推計を算出する際に、5歳児から新1年生が、入学する際などに増減率をかけております。その増減率といえますのは、それぞれの小学校で過去10年間で、例えば5歳児から新1年生になった分の過去10年間の平均の増減率をかけ合わせて、この推計を算出をしております。その新1年生進級年度に乗じる増減率の違いと書いてございますけれども、九条東小学校単体では、今、過去10年間の全平均の増減率は45%

ぐらいになってございます。ただ、この再編校の推計は再編後の小学校と書いておりますけども、この 15 ページに記載しておりますのは、敷地であります九条南小学校、九条北小学校の、今の過去 10 年間の増減率というのをかけ合わせてございます。つまり、九条東小学校単体では、11 ページの方は、実際に在住しておられる方の、半分以下の方しか来られていない平均がありますので、そういう見込みにしておりますけども、九条南、九条北のほうは、今 100%の増減率ということになっておりますので、この 15 ページの統廃合のところは、九条南、九条北の 100%の増減率でかけ合わせているために、そういった数字に差が出てきているというのが大きく 1 点ございます。あともう一つですね、再編校においては調整区域在住者も含んでいると書いてございますけれども、11 ページの九条東小学校単体の分では、調整区域と申しあげまして、千代崎の地域は、日吉小学校、九条東小学校どちらでも選択することができますという調整校区になってございますが、今現状九条東小学校では、千代崎から来られてる方がほとんどいらっしゃらないということがありますので、そこはカウントしてございませんが、この 15 ページのところでは、千代崎の調整区域の在住者も含めた形でここにカウントしてございます。そういったような数字の差になってあらわれているというふうにご理解いただければと思っております。

(九条北地域の方)

・それどっか書いてあります。ホームページに。今の説明全くわからないです。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・失礼します。今ホームページ等ではこれは記載してございません。この 15 ページに記載しておる内容が、今回皆様にお示しする内容でございます。

(九条北地域の方)

・要するに、こうしたらなんかごっつい数が増えてるんでね、それにちょっと違和感を感じてるだけなんです。根拠がちゃんとわかれば、別に納得するんですけど、なんかすごい増えてるという感じがするんで、こんな数どうやって増えてるんかという根拠がちょっとようわからん。それだけです。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・はい、私のちょっと説明が至らぬところがありまして誠に申し訳ございません。九条東小学校の今の現状では、なかなか校区に在住いらっしゃいますけ

れども半分以下の方しか現状では、入学されておられませんので、今後の九条東小学校だけの推計では、その半分以下の増減率をかけ合わせてございます。

20人校区にいらっしゃっても、実際に9人ぐらいしか入学者がいらっしゃらないとかそういったような状況がございますので、ただ、15ページを統合いたしますと、九条南小学校敷地、九条北小学校敷地で、それぞれの統合後の学校ということで開設いたしますので、今の九条南小学校、今の九条北小学校というのは、校区にいらっしゃる方の人数のほぼ100%が増減率ですけれども、入学されておられますので、その人数をかけ合わせておりますのでどうしても半分以下しかかけ合わせてない九条東小学校の分と、100%以上こられておられます、九条南、九条北小学校で統合する場合と、その数値で差が出てくるってのはそういったような事情がございます。

(九条北地域の方)

・仮定というのは、私学へ行ったりとか、引っ越すとかそういうのを入れずにの数なんですかね。私学へ行く子とか、その想定線での数なんですかね。そう理解したらいいんですか。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・はい、ご質問ありがとうございます。この増減率と申しますのは、今申し上げました5歳児から1年生に上がる場合の増減値でいいましたら、私立に入学する者もおりますし、逆に他の地域から転入してきたりとかいうふうなこともございますので、そういったこともろもろ合わせた上での増減率というふうになってございます。なので、私立等も含めたトータルの増減率過去10年間の平均ということになってございます。

③ (九条東地域の方)

・まず質問として、本日含め、今後近隣3校、あと西区のほうのいろんな他校のほうでも、これから説明会あると思うんですけど、この統合の説明に学校再編に向けた説明の開示とかは、ホームページ以外では特に周知はされないんでしょうか。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・ご質問ありがとうございます。この説明会ですけれども、10月の27日の金曜日に公表いたしておりますが、おっしゃっておられますように、西区役所のまずホームページ、あと、九条東小学校、九条南小学校、九条北小学校の在籍の保護者の方にお知らせ文というのをお配りをさせていただきました。あと、

九条地域の近隣の私立の幼稚園、保育園の園長先生のところにも訪問いたしまして、掲示板等で周知をいただくことをお願いはさせていただきました。あと、最後に九条東、九条南、九条北、そして先ほど調整校区と申し上げましたけど、九条東小学校に通学可能な千代崎の4つの連合振興町会の皆様には、その案内文の回覧等周知をご依頼させていただきました。周知方法といたしましては以上でございます。

(九条東地域の方)

・私自身この子を1年に今入れておりまして、来年以降も人数増えてくれることを願って、再編統合とかは特に反対の立場で東小学校の方でアンケートを出させていただいたんですけども、例えば、今周知のほうはものすごく少ない形で今動いていると思うんです。正直、特にやっぱり学校などのプリントでもらうことって、保護者の大半の方は見られてないとか、あと区の方でも、やっぱりそういう周知がないことによってこれから先細りしていくっていうことが、すごい身をもって感じるんですね。来年以降その人数を減らすほうに区としては持っていったるのかなってすごく肌で感じるんですが、正直通わせてる身としてはやっぱり来年以降もお子さん増えて、統合が再編がないように、本当は願ってるんですけども、やっぱりどうしても今このような現状で動いているっていう形もあると思うので、正直、一個人としては、これからSNSであったり、マスコミであったり、訴えかけていき、もう少しでも人数、正直やっぱり九条東校区でお住まいの方でも、もうこれから潰れるかもしれない、なくなるかもしれないということで、北、南にあと本田、堀江、人数多いところに通わしにいったるわざわざ遠いところまで行かしてる親御さん多いと思うんです。そういう方もお見受けしてます。実際の人数も、たくさんいらっしゃるってお伺いしてます。そういうふうな方向でやっぱり個人的に動いていくっていうことがこれから可能であれば私自身はやっていきたいと思うんで、そういう形は特に区や、皆さんからやってはいけないとかそういうのはあるんですかね、やっていっても問題はないんでしょうか。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・はい、いろんなご心配をおかけしているお話だと思います。申し訳ございません。実は、今回の説明会第1回ということで、この資料につきましても本日初めて皆様にお示しをしているところでございます。来週、2回目3回目と行ってまいりますけれども、周知がもっともっとできればというふうに思っているのは区役所としても同感でございまして、まず、私どもとしましては、本日、先ほど議事録をとらせていただきたいと思いますって司会の方から言っていたき

ましたけれども、本日のこの配布資料であるとか、議事録につきましては、できるだけ早い段階で西区役所のホームページとかにも載せていきたいと思っております。そうすることで、学校説明会3回ありますけれども3回ともお忙しくて来れないという方もいらっしゃるかと思います。そういった方でも、ホームページを見ていただいて、資料の内容であるとか、私が説明する内容は3回とも同じでございますので、この資料の内容の説明でありますとか、そういったことを議事録等で、ホームページで見ただけのようにと、そういったようなことはしてまいりたいと思っておりますし、またおっしゃっておられました、本日こうやってわざわざお越しいただいてお聞きをいただいておりますので、そういったお話を、もし近隣のご友人の方とか言うていただくことができるといふふうにも思っております。先ほど私申し上げましたけれども、ご質問をいただきましたけれども、こういった形で令和11年4月で九条東小学校の統合というふうなことで、区役所として案を考えておりますけれども、それまでの間ですね、今まで通り、九条東小学校できめ細やかな教育ができるように、1つの学年で1人の担任の先生が子どもたちに向き合っていただけるように、教員の数につきましては、きちっと配慮した形で進めていきたいと思っておりますので、あわせまして、私どもとしても、九条東小学校を今回の学校選択制でまた選んでいただきたいなというふうな思いがございます。ありがとうございます。

(九条東地域の方)

・すいません。あともう1点だけあるんですけど、あと、私生まれも育ちも九条で、西区民としてずっと住んで、ここでこれからも住みたいと思ってるんですけど、防災拠点として、11年以降、動いてない建物で防災拠点に本当になるかっていう面に対しての統合後のアンケート、廃校をどう使うかっていう部分に関してこの今書面では、特にそんなに触れていないと思うんですけども。そういう面に関しての、これからのご提示とかは、まだまだ内容の展望があるんでしょうか。

(九条東連合振興町会)

・その点について、地域もものすごい心配してまして、これ、今の西区役所の説明やったら大きな誤解があるんですけど、こういうワンステップごとに、大阪市から出して、市議会で通ってステップが1個上がっていくことなんで、これ決して、令和11年4月予定ではできないと思っておりますこれは。

万博でこんだだけ赤くらってたら、それから、西区、大阪市内義務教育の学校のこの工事もすべて遅れていってますから、ただ今日お越しの教育委員会、

それから西区役所の区長、副区長、教育課の人らにとったら、そういう原案を作って。これ、何年か後に入れ替わったら九条北が、九条南がってなることなんで、その防災の拠点については、もし九条東がこのまま再編でってなった場合は、もうそこを西区で一番安全なところについていうので、もう3年ぐらいずっと交渉して、現Pさんが、賛成のほうはかなり多いという数字が出たので、地域もちょっと舵きって。防災拠点、ご心配のことも、もう重々わかっております。今日西区のトップも座っていただけてますけど、その並びに、来年度に向けた西区全体の防災訓練もやりますし、直下型ばかりやってるますので、実際は、津波が一番怖いので。九条北で津波が約30分で来るんです。九条東地域は1時間30分あるんで、まあ安治川のせいですけど。だから、そんなも含み、それから、なかなかマンションが実際地震や言うときに、こう、やらせてくれ、助けていただけないんで。だから、動けへん言うても施設管理とかあんなんはきっちりしていただきますし、こっちもしますんで、もうそこはもう僕死んでしまったらわかりませんが、生きてる間はやりますので、そこは安心してください。

それと、言うてはったご懸念は、一つ一つの段階で、大阪市から出して、市議会で可決されてやから、おっしゃってるように、北の方が減ったとか、南の方が減ったというたら、話変わりますよね。なかなか区役所、市役所の方からの説明はしにくいんで、あえて僕これ答弁するのも変なんですけど、僕そっち側に座ってかなあかん人間なんですけど、堪忍をしていただきました。すいません。

④（本田地域の方）

・3点確認にもなるかと思いますが、質問なんですけど、一つは、令和6年度の入学は受け入れるってということやと思うんですけど、7年度以降は入学を受け入れないということなのかどうか。それと、先ほどの15ページの質問に重なるんですけども、その九条東小学校が今、49%ぐらいってことで、校区に住まれてる方で、九条東を選択されてない方は、どちらのほうに行ってるのかっていうような内訳はわかるのかどうか。それと最後に、調整区域が、今の現時点では千代崎の方からは入学がないということなんですけど、こちらの表では、それを見込んでるってことなので、調整区域の方が選択しなかった場合は、この推計というのがどの程度になるのか知りたいなと思いました。

（九条東連合振興町会）

・生徒のはね、これもかなり交渉しましてね、統廃合、再編整備別に九条東小学校に、現在子どもさんらが通ってはるから、本当やったら先生の数減らさ

れたりとか、1年と2年が一緒とかいうのやったんですけど、もう強硬に反対して、そこは、プラス教育委員会の方も行っていただきましたけど、インセンティブでそこはもう絶対保障されますんで、来年度も九条東に入っていたとしても大丈夫です。それと、これこういう複式人数のところをオープンに資料として出せないんですけど、だから学校内案内でも出せてないんですけど、成績だけは、九条東はもう1年から6年生まで他の西区の学校より平均で10点ぐらい高いですから、少人数のそこはまた良さなんかだと思いますが、千代崎を数に入れてる等々と、それから先ほど男性の方が人数これちょっと合えへんのいうおかしい、根拠は何って質問されてましたけど、それも地域の交渉の時にかなりやったんですけど、その西区役所の教育課の子に言うとかわいそうぐらいで、やっぱり文科省とか教育委員会とかいろんところで今までそういう計算方式になってるからいうのをただ単に当てはめてるだけやから、普通にね、小学生が足し算やったら合えへんような数字が出てますけど、これも僕は、ちょっと何か、だから、この場で聞いてもちょっと説明できないと思いますねそこは。

(本田地域の方)

・いや、そっちが答えるべきじゃないですか。単純に7年度以降の九条東の入学は、もうするのじゃないのかっていうことを確認ですよ。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・はい、ご質問ありがとうございます。今回、この案は、令和11年4月に統合予定としてますけれども、令和11年3月まで、令和7年度も含めて、新入生はこれからもずっと受け入れてまいります。そこは、途中で打ち切るというふうなことは、今、この案で考えてございません。

(本田地域の方)

・回答の途中で申し訳ないですけど、そしたら7年度の入学した場合、6年生になった時には統廃合のどこになって卒業は九条東ではしないってことですか。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・はい、令和6年度入学生からは、令和11年の時点でこの案では、九条南或いは九条北のほうについていうふうになりますので、令和7年度でしたら、ちょうど5年生になれる頃が令和11年4月になります。

(本田地域の方)

・14 ページに掲げてる在校生はすべて、九条東小学校で卒業可能ですっていう書き方はちょっと違うんじゃないです。7年度に入学した子は、九条東では卒業できないんです。8年度に入学した子は卒業できないんですよね。すべてではないことになるんじゃないですか。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・すいません。失礼いたしました。今、在校生と申しましたのは令和5年度に今1年生から6年生までいらっしゃる方というふうなことでございます。

令和5年度、今年、この4月に1年生になられた子というのは、令和11年4月ってのは中学校1年生になりますので、ちょうど今、今年入った子たちは、この九条東小学校で卒業が可能になってまいります。

(本田地域の方)

・現在在校生やからってことですよね。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・はい、おっしゃるとおりです。

(本田地域の方)

・だとすると、なんかその辺なんかはつきり何で書かないのかなと。7年度以降も入学は可能だっていうことは。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・7年度以降も入学は可能でございます。

(本田地域の方)

・入学を受け付けることはするんですね。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・はい、令和11年前であります令和10年4月の入学も当然受け入れてまいります。

(本田地域の方)

・この今の案では、そこで入学した方はもう再編に入るから、東での卒業を迎えるわけではないということですか。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・はい、おっしゃる通りでございます。

(本田地域の方)

・今、東の方に、選択されてない方はほぼ南、北やから、再編した場合は100%そこに行くやろうということなんですか。それ以外もどのぐらいの比率なんですか。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・はい、失礼いたします。ちょっと詳細の数字は持ってございませんけれども、大きくは九条南、九条北小学校を選んでおられたり、あと私立を選んでおられたりというふうな状況はございます。一部本田小学校等も、近隣の小学校に通っておられる方もいらっしゃいます。学校選択制は、西区は隣の小学校区は選ぶことができますので、ちょうど九条東小学校で言いましたら、九条北小学校、九条南小学校、本田小学校、日吉小学校を選ぶことができますので、今申し上げた4つの小学校でありますとか、あと私立にも通っておられ、進級されるというふうな方はいらっしゃいます。

(本田地域の方)

・あと三つ目。調整区の数も増え、入れてるからすごい数字が大きくなるってことなんやったら、調整区の方がもし選択せえへんかった場合の、東、北、南の純粋な人数というのも出した方がわかりやすいんじゃないかなとは思いますが、ここだけを出すからすごく人数が膨れあがってるように感じられるんじゃないかと思うんですが。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・はい、失礼いたします。調整区域等については、ここで見込んでおります、カウント、増減のこの差といたしましては、**61人の見込み**です。調整区域、千代崎は、九条東小学校の日吉小学校とのことで、九条東小学校の方でございますので、この15ページで言いましたら、上段のほうになる数字でございます。従いまして、今**61人**って言う数字は、今の時点での見込みでは、1年生から6年生まで、ちょうど35人で1クラスの編成としておりますので、36人以上になれば2クラス編成になるというふうな状況でございますので、一定はクラス替え等ができるような見込みの推計になっているのではないかとこのように思っております。

(本田地域の方)

- ・6学年で35人ぐらいいるってことですね。調整区域で。

(注) 11月15日開催の住民説明会で区役所より「61人」に訂正の旨、回答

(玉置 西区役所教育担当課長)

- ・はい。

(山東 教育委員会事務局総務部学校適正配置担当課長)

・教育委員会事務局の山東です。今のご質問の回答で、少し補完をさせていただきますと、先ほど来15ページの児童数の推計が多いのではないかと、というご質問だと思いますが、一方で、この数字によって、冒頭で説明ありました校舎の整備を行っていきます。校舎の増築工事を行いますので、マックス値といえますか、最大値をとっているのだなあというふうにご理解いただければ結構かなと思います。実際に、統合して開校する時に、教室が足りないということ、もちろん我々は避けるわけですから、そういう数値を示しているということでお考えいただけたらと思います。以上です。

(本田地域の方)

・ありがとうございます。うちの学童にも、今現在はちょっと在籍東の子はいないですけど、今までも在籍もいたので、統廃合云々に関しても、賛成反対とかっていうことの意味よりは、反対されてる地域の方はいらっしゃると思います。それはもう僕もよくわかるので、そういう意味では、さっきの三つ目の質問はね、数多く見積もってるように見られるとあれやなと思うので、先ほどのような説明はされた方がわかりやすいなど。最大値をとって、増築する目安にするんだということは今一応僕の方は理解できました。

⑤ (九条東地域の方)

・西区でこの子どもの数は増えてる20%増っていうのがあって、その中で、東小学校、北、南と、人数が減っているっていうのが問題になっているんですけど、逆に、他のそれ以外の小学校で、増えている、増えすぎているっていうのが問題になってたりはしないのかっていうの。実際うちの子どもは本田小学校に通ってまして。最初、で、生徒数が多かったのと、それで、ちょっとあふれちゃってる、なんかちょっとついていけなくなってる、先生のケアが足りてない。っていうことを感じたので、東小学校の少人数のよさっていうところに、すがるような感じで、頼るような感じで来させてもらいました。

それもすごい恩恵を受けて、東小学校に来てよかったなと思ったんです

けど、だから、その増えすぎている小学校の問題点ももっと提示して欲しいし、その東小学校がもし統廃合になったときに、そのインセンティブとか、今通ってる子どもたちとか親にケアがいく分とか、行った後に教室が足りなくて、増築を考えているとかっていう予算。そういうのもっと西区全体でバランスを保てるようなところに予算を使えないのかっていう、今の状態だと、これから入ってくる1年生で入ってくる人たちの親の話とかってするんですけども、親同士で。どうしても、何かよくわかってなくて今のこの状況が。東小学校ってなくなるんでしょう。だからやめとくみたい。そういうふうな意見が、負のオーラが、負の連鎖が続いていると思うんですね。だから、西区全体でバランスを保ってるのが一番ベストだと思うし、その辺の予算の使い方みたいなのが、僕たちとしては希望かなと思っています。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・はい、ご質問ご意見ありがとうございます。本田小学校から九条東小学校への転校ということで、いろんな思いがあつての転校されたんじゃないかなというふうに思っております。今ご質問ありました、この九条地域3つ小学校以外の地区ですね、5つ小学校が木津川より東側ですけれども、木津川より東側の5つの小学校は、軒並み子どもの数が増え続けてございます。そういった状況がございました。そういった状況がございましたので、今、特に堀江地域、堀江小学校の地域になりますけれども、堀江小学校の地域は、西高校を跡地というふうにいたしまして、西高校を高校の再編で、別の区の高校と、くっつけてまして、西高校の跡地に堀江中学校も移り、そして堀江小学校に、令和6年4月から西学舎といいまして、堀江小学校を2つ、いわゆる分校ですけど、堀江小学校東学舎、今ある東学舎と、新しく建設しました西学舎ということで、新しい堀江小学校ももう1つ作ってございます。そこで、令和6年4月から開校するというので、そこは一定、そのいっぱいいっぱいになつて状況というのを解消しようというふうに思っております。あと、もう1つ北側の方ですね、おっしゃっておられた本田小学校でありますとか、西船場小学校のエリアになるんですけども、子どもの数が増えているという状況がございまして、実は、すぐ西船場の地域のすぐ川を渡ったすぐ、橋を北のほうに渡れば北区になります。今北区に令和6年4月に、中之島小中一貫校というのを新しく設置をいたします。その関係の募集とかも行ってございます。中之島小中一貫校というのは、割と西区からも近いところでもございますので、そういったこともしながら、今、川の東の5つの小学校で、すごく子どもが増えている状況に何とか対応していこうというふうなことで、私どもとしても今動いておりますし、今申し上げた、堀江小学校西学舎、中之島小中一貫校といわゆる2つの新しい

新設された小学校の建物を整備をして、そこで受け入れるというふうなことを考えているところでございます。ご意見いただきましたように、西区として本当に子どもが増えておったり、かたやこういった形でお話をさせていただいたりということで、何とかそれぞれの教育環境が、どこの学校でも、環境がちゃんと整えることができるように、これからも、私どもとしても努力をしてまいりますので、またご意見等いただければと思います。ありがとうございました。

⑥（九条東地域の方）

・9ページの地図なんですけど、私どう見てもこれすごくいびつな校区やなというふうに思えて仕方なくて、ちょうど本田3って書いてあるこの地域の辺なんですけど、この辺にお住まいの方のお話とかも聞いたりするんですけど、小学校に入る前に「あなたここの学校一応ここになってますよ」みたいな、来るじゃないですか。それを見て、そうなんやっていう感じで、本田になってるんやったら本田行こかという感じで本田を選びはって、結局本田の小学校は溢れかえってて、芋の子洗うみたいで自分の子がどこにいるかも見つかれへん状態やっていうふうに聞いてます。で、本田の、この本田3って住んでる人たちは、本田小学校に行くよりも、北とか南とかに行く方が近いっていうふうにおっしゃってて驚いたんです。その校区のこの形にもいびつやなあと思いますし、結局本田小学校に行くのがすごく遠いので、親が付き添ってると。朝。登校時付き添って行ってるそんな小学生それおかしないうて思うんですけど、それが、ごくごく当たり前やというふうにお考えなのかどうかっていうのと、それから冒頭で九条の少子化というふうにおっしゃったんですけど、九条を最寄り駅とする本田地域の方がこんなに溢れかえっているのに、なぜ校区編成のことを考えたりしないで、九条を統合するっていうふうに話が進んでいくのかが、どうしても納得できません。なので、その辺ちょっとご意見お聞きしたいです。

（玉置 西区役所教育担当課長）

・はい、ご質問ありがとうございます。

まず、九条東小学校区隣り、本田3丁目という9ページのお話いただいた内容についてでございますけれども、校区の変更は可能なのか、できないのかっていうふうなことのご質問でございました。まず、校区変更といいますのは、片方の地域だけではなくて、双方の周辺地域の方のご理解、合意するのは必要であるというふうに考えてございます。校区変更は、その時々、その時代時代の、子どもの数の状況で安易にある時はこちらにして、ある時はこちらにしてっていうのは、そういったことっていうのは、安易に頻繁に変えるものではないのかなというふうに思っているところではございます。今の、推計を見えます

と、今校区変更等もお話もありましたけれども、やはり根本的な解決策には、ならないのではないかとこのように考えてございます。今、もうご存知の通り、学校選択制ということで、隣の小学校を選ぶことができる制度というふうにしてございますので、今、本田小学校区から、九条東小学校も選ぶことが、当然制度上もできる状況ではございます。ただ、現状本田小学校区から九条東小学校に入学を希望する方っていうのは、極めて少ない状況でございます。毎年各学年に1人もいるかいらっしやらないかそれぐらいの人数の状況でございます。現在の制度としては、選ぶことができるという制度にはしているというふうな状況でございます。先ほど、親、保護者の方が付き添って、学校まで通っているというふうなことについてどう思うかというふうなお話があったかというふうに思っております。いろんなご不安等があつてというふうなことで、だと思ふんですけれども。大阪市はですね、小学校につきましては、通学距離のルールってのを定めておまして、2キロメートルを超える超えないような形で小学校区を設定するというので、これは大阪市24区の全体のルールでございますけれども、なっているところでございます。今、本田3丁目からですね、本田小学校までというのは、2キロメートル以内の中に入っており、どこの校区のどこの所もそうではありますけれども、そういったような状況でございます。私の方からは以上でございます。

⑦ (九条東地域の方)

・まず、お聞きしたいんですけれども、千代崎が調整区で、千代崎で通ってる生徒は現状いないで言うてはったんですけど、うちの子はそしたら計算されてないのかなと思って、ちょっと、統計適当なんじゃないですかってちゃんとしてるんですかね。信用して大丈夫ですか。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・私の説明不足であれば申し訳ございません。ゼロということではございませんが、ただ、ほとんどいらっしやらないというふうには思っております。

(九条東地域の方)

・はい、了解しました。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・申し訳ございませんでした。

(九条東地域の方)

・質問なんですけれども、そうですね、その辺も私自身が堀江小学校と堀江中学校出身なんですけど、我が子の地域は、九条東じゃないですよ。なんですけど、それこそ1年生が千代崎から日吉まで通うのはちょっと無理だろうなと思って、近所の小学校、あと生徒数が逆に多くて勉強にはならないだろうなと思ったんで、入らしたっていうのもあるんですけど、校区がそもそも西区ってすごいおかしな区分けで、中学校小学校だったら浪速区も実は西区の小学校来てますよね幸町とかだったら、日吉とか堀江とか。そういったものは何も手をつけずに、九条は人が少ないって、九条東は、生徒の入学率も低い。

調整区域がある。好きな学校に入ります。学校を増築します。多いところは。

っていうのはちょっと納得しろっていうのは、自分だったらいいんですけど、息子のことなので、ちょっと納得はできません。それを納得できるように説明して欲しいというのが一つです。あと、入学率が年々減ってますよね。11ページ。入学率が減っているのは、結局、いつ統合するかわからないから入らせるのが怖い。検索したら、九条東小学校の後に出てくるのは、統合とか学校がなくなるっていうワードなんです。そこに我が子をあえて入らせる親は僕はいないと思うんですよ。なので、正しい情報がきちんと伝わっていない。これだけインターネットがあって、SNSっていうものがあるのに、全く情報が伝わっていない。少人数だから、不安で、今いただいた資料もそうですけれども、少人数だと子どもの成長に良くないって書いてるんですけども、そのデータっていうのはどこにあるんですかと。成績はみんな平均点が10点以上いいというお話で、私自身が仕事で就職支援の学校をやったり、高校生の先生もやった経験ありますけど、人が少ない方が教育はしやすいです。

でも、それはあくまで私の体験談でしかない。でも、これを見ると、データというものが何もなくて、単なる先入観じゃないですかね。あんまりそういうので、もう、ただただ先生が足りない。でも、住民がうるさいから、区域の変更はできないって、正直に言われた方が、多分九条の住民も納得するんじゃないのかなとは思いますが。以上です。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・はい、ご意見ありがとうございます。大きく3つであったかというふうに認識してございますので、まず私の方からもお話をさせていただきます。まず、1つ目、西区の校区の分け方がやっぱりおかしいんじゃないかというふうなことで、そんな中での再編或いは増築という考え方が納得できないので説明を、というふうなお話であったかと思ってございます。校区変更ですけれども、やっぱり先ほど申し上げて恐縮ですけど、どうしてもある一つの校区の地域の方だけではなくて、その近隣に接しております2つ或いは3つ等の、地域の方々と

の合意も必要になってございますし、いろんな経過があつてようになってきているというふうな状況もあるかと思ひます。なかなか、昔々は九条のエリアの方が子どもの数が多かつたというふうに、私もそう見聞きはしてるところですけども、その時々で、頻繁に校区はやはりコロコロ変えていくつてのは、それはちょっとそういうことではないのかなというふうに思つてるところでございます。先ほど来お話をさせていただいておりますけれども、どうしても、今、九条東小学校については、5月時点では65人でございますし、今後も、そもそも住民基本台帳の数とかを見てますと、11 ページのところ、右下の方にお示しはしておりますが、そもそも住民基本台帳の数を見ても大幅に何か増えていくつていう要素が見込まれないような状況でございます。そういったような状況もありますので、やはり根本的な解決にならないのではないかと、いうふうに思つておりました、一方で、こういった子どもたち、きめ細やかな教育を学校の校長先生はじめ、皆さんやっただいては十分認識はしておりますけれども、それに加えて、いろんな子どもたちいろんな先生にも触れ合つていただいて、多様な、多様性いろんなことを身につけていただいてと、いうふうなところもあれば、もっともっと、羽ばたいていただけるんじゃないかなという思ひもありまして、今回こういう再編の考え方をお示しをさせていただいてるところでございます。この間ネット等の検索で、統合されるんじゃないかというふうな統合というふうな、そういうイメージを、九条東小学校が持たれてる、正しい情報が伝わってないというふうなお話がありましたけれども、そこにつきましては、私ども、今こういった場でお話もさせていただいたり、西区役所のホームページ等でも、その児童数の状況というの、お示しをしたりはしてるところではございますけれども、私どもも、皆さんにパッとこう見ていただいてわかるような形でお示しがこれまでできてののかというところ、そうじゃないかと思ひます。そのあたりは、より丁寧に、今までも載せておる内容というの、今後も丁寧に広報していかないといけないというふうに思つております。西区役所の方では一定ちょっとホームページに載せていたりはしておりますけれども、見ていただけてないところは、私どもとしても、ちょっと反省点つていうふうに思つてるところでございます。あと、最後のお話としまして、少人数、小規模つていうのが良くないということについて、データ等があるのかどうかというふうなお話についてでございます。

これ、7ページのほうに小規模校メリットデメリットというふうにして書いてございますけれども、こういったような内容につきましては、実は、国、文部科学省の方も専門家とか有識者の方が、こういった学校の適正規模つていうのはどれぐらいがいいんだろうか、小規模校はどうなんだろうかっていう議論がなされてメリットデメリットの研究がなされておりますし、大阪市におきましても、

有識者の方から、こういったメリットデメリットの研究をされておられるというふうな状況がありましたので、こういったような形で書かせていただいた。

出典は、そういった大阪市教育委員会の中で議論されているということ踏まえた形でこう書かせていただいたような状況でございます。私の方からは以上でございます。

(山東 教育委員会事務局総務部学校適正配置担当課長)

・失礼します。3点目について、教育委員会の方からちょっと補足させていただきますと、我々教育委員会としても冒頭説明がありましたように、7ページでございますように小規模校にもメリットは、ございます。ただ、メリット以上に、教育活動の幅が狭くなるであつたりとか、先ほど来ご質問もいただきましたが、教員の体制であるとか、学校運営においても、やはり課題が多くあるということから、やっぱり一定の適正規模の学校に再編する必要があるということで、令和2年に大阪市学校活性化条例で、また規則のほうも制定して、今この学校適正配置っていう取り組みを進めているところでございます。以上です。

⑧ (地域の方)

・すいません、お急ぎのところ。もう一つだけちょっとお願いしたいと思うんですが、私がちょっとよくわからないんですけども、大規模校が堀江のほうによくできてきたので校舎を増やすとか、いろんなこと。今、ちょっと聞いた感じではそんな感じなんですけど、それで正しいですか、そういう予定があるみたいなこと、校舎を増やしていくとか。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・はい、ご質問ありがとうございます。堀江小学校については、すごく子どもの数が増えておりますので、令和6年4月に、今の堀江中学校、元西高校の場所ですけども、

(地域の方)

・はい、わかりました。結局増やす、大きくするということですね。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・はい、おっしゃる通りでございます。

(地域の方)

・小学校1年生2年生とか、小学校5年6年でもそうですけど、小さい子どもを持つてる親で、遠くまで行かしたいと思ってる親って少ないと思うんです。

2キロっていう距離をおっしゃいましたけど、2キロも歩けば太い道路も渡れば、狭い道路も渡る。でも本当は、子どもたちが自分の足で、すくすくと育っていく環境を作っていただきたいのが、教育の根幹じゃないかなと私は思っています。本来、なぜ僕は、そちらの学校へようけ集まらんのか私も歳ですからわかりませんから。でも、もしね、そちらの教育のほうがいいということであるならば、その教育を均等化して均一化して、どの学校もすばらしい教育ができるような、人員配置をされることが、行政のされるお仕事ではないかと思うんです。何か、物流的にこっちへ流そうとか、いや、間違ってたらごめんなさいね。それは、今急にはできないでしょうけど、ちょっと違うんじゃないかな。子どもを育てるということは、未来の子どもたちを作っていくことでもありますし、町を作っていくことでもあると思うんです。ここらの学校がどんどんどんどん減っていくと、あそこ行っても、私の子どもは、大した教育は受けれない。となったら、余計に町はさびついてしまって、こんだけ昔は心齋橋と並び称されてたような九条商店街が、どんどん劣化していったら、歴史も壊れ、九条東小学校はどこがいいということではありませんが、九条では一番最初にできた学校だと聞いています。それはもう北でも南でもみんな大事な学校で、私が言いたいのは、子どもたちを本当に育てるお気持ちがあるならば、そのあたりをまず行政の方、知事さんや市長さんも含めて、本当に子どもたちがどこへ行っても安心できる町を作っていただくこと。そうでないと、九条のように学校がつぶれていったら、若い人たち来ませんよ。せつかく歴史ある町が消えてしまうと僕は思うんですね。夢みたいなこと言うてたら、私らの仕事はできないと思われるかもしれせん。でも、教育委員会の方がおられるんでしたら、本当の教育ってどんなことなんだと。私はそれが本当の教育やと思ってますから。そんなこと僕らに言うても、教員の配置は私らが決められない。それもようわかりますけど、そういう意見もあつたっていうことをどっかでお伝えいただけたら嬉しいなと思っています。以上です。

(山東 教育委員会事務局総務部学校適正配置担当課長)

・ご質問ありがとうございます。我々教育委員会としても、先ほどご質問あつて、増築する学校があつたりとか、小規模化していく学校があつたりとか、というところで均一化して欲しいということが、まず1点あつたかと思ひます。それにつきましては、もちろん大規模化していくことも、我々も良しとはしてごさいませんでして、冒頭説明しましたように、12学級以上24学級以下という、これが小学校の適正規模だと考えてごさいます。そういった、一定の子ど

もの人数で、一定の規模は学級数ということも含めてですけども、そういう規模で教育環境を整えて、大阪市教育振興基本計画で掲げてます、基本理念ですね。ということ、子どもたちに、やはり、この基本理念をもとに、教育していくということが、我々の命題だというふうに思っています。統合するとですね、ご質問、先ほどもいただいたかと思うんですけど、2キロ以内っていうのが遠いのではないかというご質問もあったと思います。他の区でもですね、そういった形で統合すると、通学距離が遠くなるということがございます。そういった場合については、できるだけ子どもの通学の負担を減らすということで、教室のほうに、置き勉強といいますか、そういうためのロッカーを備えて、通学の重たい、特に、小学校低学年の子どもだと、重い教科書を持って、遠くのところへ行くという、そういう負担を、できるだけ軽減するというのも、再編した後に、そういう対応もやっています。

教育委員会としては、ご質問でいうと、12学級以上24学級以下という、そういう学校の規模が一番適正規模だと。その環境の中で、子どもたちが社会に出て行く子どもたちが、育っていくということを考えてございます。以上です。

(地域の方)

・最後にさせていただきます。今教えていただきました、駅弁、弁当置くとか、そういうことは、私は聞いていないと思うんです。大事なことは、親がどう子どもを考えているか。子どもに本当の教育を受けさせるというのはどういうことか。特定の学校がかしこそうやからダーツと人気のように集まったら、それは違うよ。どこでもちゃんと習えるよっていうことをお知らせいただくのが、先生方の仕事ではないでしょうか。そうでないと、先生に差があります。質問しますよ僕。そしたら、こうこうで小学校は近い距離で行きなさいよと。そこはもう行ったら、安全のためによくないよと、おっしゃる。それが本当に子どもを安全に、学力高く、情操深く、育てていくために、こういうことを持つてる人もおるということをどうぞ上司の方に。知事や市長さんも含めて、教育委員の先生方みんなに伝えてくれたら、嬉しいんです。今のお答えは失礼ですが、私には何にも響きませんでした。すいません、失礼ですけどお願いします。

⑨ (九条北地域の方)

・私、一番最初にちょっと統計のね、おかしさをちょっと言うたんですよ。数が合っていない。数が合っていないことをね。正直、本田言う小学校はないんですよ。名前上。川口、場所川口ですから。川口、あっこ川口町ですわ。本田言う地域に小学校ないんですよ。だから、そこの分け方って、もうちょっとフリーでいいんじゃないかと思うときがあるんですよ。元々前の本田には3つ小学校

がありましたからね。3つ。3つあったからこんなに広いんだと思うんですよ。

今の本田も、元々はほんまの本田にあったわけですよ。川口でなく。この本田地域の分け方いうのと、千代崎のね、西中は小学校やったんですよ。もうだから大昔の分け方をいまだに使ってるわけですよ。大昔の。千代崎も、九条の方へ入ってない。本田も、小学校存在しないわけです。ほんまは、川口、川口に存在するわけですから。だから、ほんまにちゃんと区割りをしないとね、その町内会との関係でもめるからこういうふうにしてるっていうふうにしてはるんかもしれないんですけども、やっぱりね、小学生はね近くの小学校行かしてやらないと危険やと思いますわ。それが一番大事なことだと思いますわ。

だから、本田言うのはね、ないんですから小学校。それちょっともうちょっと考えて欲しいんですよ。この変なデータ出すよりも。だから、調整区のデータもちゃんと出して考えないと。だって、これから私のおった九条北だってこんなんしてたらなくなりますよ。このデータ見てたらなくなりますよ。九条から存在しなくなりますよ。こんなデータ見せられたら。全部木津川から向こう行けいうことなりますよ。だから、どうするのかな。古いしがらみでこんなんってるんでしょうけども、本田いう地域と千代崎いう地域は、もう小学校ないんですから。これはやっぱりちょっと考え直したほうがいいんじゃないかなって、先ほど述べてた方もおりますけど、私もちょっとそれは思います。

だから、安全で近い学校へできるだけやってやるのが、保護者は一番安心することではないし、共働きの方もいっぱいおるんですから、そういうことが一番大事じゃないかなと思うんですよ。簡単な数合わせをするよりも。それは以上です。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・すみません、失礼いたします。今の本田校区に関するお話等々につきましてでございますけれども、通学区域で、今、令和5年にはなってますけれども、本当に昔々の時代から、通学区域というのはその時その時の、その時代その時代の、役所とあと地域の皆さんと、連合振興町会等の皆さんとその時々でどうしていったらいいんだろうというふうなことを積み重なって、こういったような形で議論なり、ご意見とかもお話を聞いた上でさせていただいてきたのかなというふうに思っております。そういったような積み重ねがあって、今ここにこういうふうな状況になっておるのかなというふうに思っているところでございます。確かに通学区域を、過去に変えたりしてることもございますけれども、なかなか通学区域をちょっと少し変えるというふうなことだけで、抜本的に解決できるんだろうかっていうふうに思っているところで、今、一定大阪市全体としては、通学区域2キロ以内ということで、当然この中にもそこは守った上で

す。今は隣の小学校区は選ぶことができるというふうな制度になっておりますので、そういったような制度もいろいろと組み合わせた上でというふうなことで、ご理解をいただくことができればなというふうに思っておりますし、今回は九条の再編につきましては、この九条地域という、元々九条東小学校ができて、九条南小学校は次にできて、九条北小学校できてっていう皆さんもご存知だと思いますけども、ちょうど九条地域のところで、このエリアを、皆さんが、昔からもこの九条地域をと、いろいろと活動いただいたりご意見いただいたりしてきたと思います。先人の方々が。そういったことを考えまして、今回九条の3つ小学校を2つの小学校にさせていただくような案で今回考えたような次第でございます。ただ、色んなお話のご意見とかも、こちらも貴重なご意見だったかと思えます。ちょっと説明に対する答えになったかどうかですけども、私としては以上とさせていただきます。ご意見ありがとうございます。

⑩（九条東地域の方）

・すみません。1人で何回も質問してしまっ、お時間取ってしまいまして申し訳ございません。一応再編年度が令和11年の4月予定となっておりますけども、先ほどお話いただいた感じでは、何か案を一度出して、段々上に順々上げていくのが段階があるからとおっしゃってたんですけども、この再編が令和11年4月にされるっていうその確率的にどのぐらいのパーセントなのかなと。

（九条東連合振興町会）

・役人にはわからないと思いますよ。市議会議員と市長と、それから、その間に統一地方選が2回あるから、その結果で、どうなるかわからんけど、今する、教育委員会と、西区役所の人間としたら、そういう案を議会に出していかなあかんからというのが、役所の人は言いにくいから僕が言いますけど。

（九条東地域の方）

・あくまでも確定してますってことではなくて、この予定で進めてますと言うこと。

（九条東連合振興町会）

・そうです。予定で、大阪市内の色んな小中学校校舎をどうのこうの言うの2、3年で出るてくるところがなんぼでもあります。

（九条東地域の方）

・承知しました。いや、というのも、先ほどもちょっと仰ってたんですけども、

九条東の説明会参加させていただいて、今の校長先生、あんまりなんか年度入ってきた年度がまだ新しいということでお伺いしてたかと思うんですけども、その校長先生のお話ですごく教育方針であるとか、学校の感じであるとか、すごくなんかわかりやすく説明されていて、私個人的にはすごい魅力を感じて九条東入りしたいなと思ってたんですけども、今の説明だと、やっぱりもう統合の予定が決まっていますみたいな感じの説明だったのでちょっと不安になった部分もあって、これが確定なのか、それともまた進行の予定ですってことなのかちょっと確認したくて質問させていただいた次第です。すいません。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・失礼いたします。先ほど、九条東連合振興町会の方からもご回答がありました通り、まず、この、今令和11年4月にこういった私がお説明させていただいた案というのは、まずはこの区役所としての案ということでございます。それを大阪市としての案というふうな形でもって、今後、大阪市として案という形まで、上に上げていきたいというふうな思いはございます。そういった大阪市としての案というふうなことになりましたら、それに伴う予算、関連する予算とかっていうのを何とかいただけないかということで議会にも諮ってまいりますし、これから校舎の増築でしたら、その工事に関するところでありますとか、あと実際にこの3つの小学校を2つの小学校にすることによります、条例というのをまた変えないといけない、その条例は議会で、認めていただかないといけないということになりますので、そういったようなステップがあるというのは、先ほど九条東連合振興町会からお答えいただいた通りなんですけども、まずは私どもとして大阪市の案の前にまず区役所として案を作る必要がありますので、この時期に、こういった形でご説明させていただきますし、西区役所としましては、これを令和11年4月に何とか予定で進めていくことができれば、九条東小学校の子ども数も少ない状況もでございます。でも、それまでの間はきちっとフォローしていくというふうなことも含めて、令和11年4月で区役所として考えているところでございます。以上でございます。

⑪ (九条東地域の方)

・今現在ですね、学校に通っているんですが、入学する際にですね、やはり統合の話があるというような、あくまでも噂なんですけどもそういう形でお聞きしまして、やはり統合が行われた場合、途中で転校になる場合があるということがありまして、子どもにちょっと意思を確認してから、入学させようと思ひまして、子どもにも意見を聞きました。そうすると、やはり、通学にですね、もし途中で転校になったとしても、やはり近い学校に通いたいと。やっぱり遠い学

校に行くのは嫌だ、ということでした。入学する前に同じ保育園に通っていたお友達ですが、同じ東校区内でした。就学前の健康診断とかあると思うんですが、そちらの方にやっぱり健康診断する際は、やっぱり学校の校区の区分けされて、こちらにこられると思います。そのときにですね、ちょっと違和感を感じたのが、やはり少子化、子どもが少なくなっている児童数入学数が少なくなっているという意見あったんですけども、やはり、校区内で区切られた児童数としては、やはり30人近くいらっしゃったんです。こちらの方がなぜ東を選ばなかったのかというふうに、お聞きできる方が数人いらっしゃいましたので聞いたところ、やはり東小はなくなってしまう。統合されて廃校になると。

だからそういうところには行かせられない。ということで保護者のほうからはそういう不安材料になっています。やっぱり入学してみると、今現在、児童数が7人ということなんですけども、やはり、統廃合がありき、そういう話がなければ東小に入学したでいただろう児童がたくさんいらっしゃると思うんです。

学校選択制ってのは、とても良いことだと思うんですけども、やはりですね、そういった選択できてしまうっていうことが、統廃合の不安で選んでしまうという状態がありまして、ちょっと学校選択制にちょっと疑問を感じるのと、やっぱり近い学校にちょっと私自身も子どもの意見を確認した上でだったんですが、近い学校に通わせたい、自分の足で、保護者の送り迎えなしで通わせたいっていうこともあります。さらにですね、再来年度令和7年度にちょっと兄弟がおりまして、そちらの子も入学させたいと考えております。

その場合ですね、やはり、そのちょっと下の子が体が弱い面がございまして、南小とか北小ですね、本田なのに通わせる場合に、やはりちょっと登下校が、ちょっと1人で難しいのではないかと。やはり、1年生姉がおりますので。ただ、卒業してしまったりする場合ですね、1で行けるのかという不安があります。ですので、立場的には、統廃合、東小がなくなってしまう、廃校になってしまうということについて、反対の意見なんですけれども、そちらの場合ですね、今、校舎を児童数が増えている学校などが増築されているってことなんですけれども、その予定があるということなんですけれども、やはり、先ほども意見出たように、校区の、やはりちょっと変更であったり、学校選択制などの制度についてですが、すべて児童数が減ってるから関連していると思います。

やはり、一部地域だけ児童が増えたりしておりますので、そちらの関係を、再考していただきたいと思います。今予定で、令和11年度4月に予定されてるんですが、例えば、こちらはもう決定事項というか、そちらの方向に、保護者としてはかなり反対しているんですが、どちらの意見があったとしても、もうこの方向で進めていかれるということによろしいでしょうか。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・ご意見ご質問ありがとうございます。大きくは2つあったかというふうに認識をしました。まず1つ目ですね、九条東小学校なくなってしまうんじゃないかというふうな、なので、そこを選ばないと言っている保護者の方を知っていますよというふうなお話に関連するところがあったかと思います。私ども、令和2年に、先ほど申し上げました条例で、12学級でありますとか、そういったような基準がはっきりと明確化されたというふうなことがございます。

そういったことを受けまして、この令和5年に今日こういった形でお示しはしているところでございますけれども、今、そもそも九条東の校区の方ですね、この校区にいらっしゃる未就学の子ども数といえますのは、そもそもが、なかなか条例で決められました12学級以上、12学級というのは、1つの学年でクラスが2つ、2クラス以上があるというふうなに2×6=12学級でございますので、そういったクラス替えができるような状況の人数が校区内にいらっしゃるかと言いますと、そもそも今のこの九条東小学校の校区の中には、2クラスクラス替えができるような人数の方がいらっしゃるかというといらっしゃらないというそもそもの状況があるというのは、本日ご理解をいただければというふうに思っております。あと、今回この区役所の案が、もう絶対的なものなのかどうかというふうな趣旨であったかと思っておりますけれども、私ども、まだ来週学校説明会がございまして、2回目、3回目でございますけれども、同じ説明をしてまいりますけれども、私ども、西区役所といたしましては、ここに書かせていただいておりますように、やはりこの統廃合の案をすることによりまして、きめ細やかな九条東で小学校で行われてる教育も何とか維持しつつ、今よりももっと子どもの数が1クラス増えて、多様な触れ合い、その中での刺激を受けあって、いろんな教員の方からも刺激を受けていただけるような、そういうふうな学校、魅力ある学校に、今よりもしていきたいというふうな思いはございます。西区役所としましては、こういった形で今後、案というのを、大阪市の案にしていくことができたかと思っておりますし、大阪市としての案になった場合、その議会とかにもこういった形でちゃんとお示ししていきたいというふうな思いはございます。以上でございます。

⑫ (九条東地域の方)

・すみません、片言の日本語で失礼します。多様な考え方というのは、この東小学校で縦割り授業があると思うんですけど、それは十分多様な考え方と接してるとは理解してるんですけど、そういう、そのクラス替えしないといけないとか、そういうところでちょっと納得いかないんですけど。ちょっとシンプルな質問ですけど、なんでクラス替えしないといけないんですか。

(山東 教育委員会事務局総務部学校適正配置担当課長)

・クラス替えが必要だということについては、先ほど来、説明をしていますが、小規模校というのは、子ども一人ひとりの状況を把握しやすい。であるとか、学校がまとまりやすいというような、そういうメリットもございますが、ただ、小規模がゆえに、子ども同士、その人間関係がどうしても固定化してしまうという一面もあるかと、考えてございます。なので、1年生から6年生まで同じ人間関係だと、これは良好に人間関係が構築しておれば、今ご質問いただいているように、何がいけないのかということはあるかと思いますが、クラス替えができるっていうことは、また新しい友達とも交流できるであるとか、新しい考え方に触れるであるとか、そういったことで、12学級以上ですね、すべての学年で2クラス以上という形が適正規模という考え方をしてございます。

(岡永 教育委員会事務局総務部学事課学校適正配置担当課長代理)

・失礼して補足をさせていただきます。そのクラス替えだけではなくて、教育活動面、例えば、音楽の合唱であるとか、体育の団体競技であるとかそういったものがちょっと成り立たなくなる。やっぱり、教育環境的にもそういった課題があるので、そういう教育活動の幅が狭くならないように、我々も環境を整えていきたいと考えておるところでございます。

⑬ (九条東地域の方)

・令和7年予定で入学させる予定の子をここに入れようとは思ってます。もう入れる場合は、もう11年に実行される場合、そこからの下の子たちは、もう転校ありきで入学してくださいねって言うことでいいんですかね。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・ご質問ありがとうございます。今、私ども区役所が目指している令和11年4月統合の案は、来年令和6年新入生から入学した場合に、令和6年入学生であれば、6年生の時点で、おっしゃっておられましたように、令和7年入学であれば、5年生の時点で、この区役所の案では、お住まいの地域によって九条南或いは九条北小学校のほうに、移っていただくというふうな案になってございます。

(九条東地域の方)

・今は、インセンティブ制度で、加配とか、複式学級にはしてないですが、それ以降なる可能性っていうのはあるんですか。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・私どもとしては、これから複式学級というのがますます増えていってというふうな状況もございますし、そういった状況にはなりますけれども、西区役所としてきちっと教員の加配というのを確保しにいて、今、きめ細かな教育をやっているのを、何とか維持していけるように、教員の方の加配は確保していきたいと。この案でインセンティブ予算というのを、大阪市の制度としてございますので、今こういってことで、来年度からの予算からもきちっと確保していきたいというふうな思いで、今思っておりますし、今後もそのような思いで取り組んでまいります。

(九条東地域の方)

・思いだけで、もし実際複式とかなるのはもう致し方ないという受けとめを保護者はそれは言えば、決定事項を聞いてから、それを受けとめないといけないということですよ。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・今ちょうど、大阪市の来年度の予算について、今市役所の中で、それぞれで議論されてるところでございます。そういった状況でございますので、私ども区役所としてきちんと、大阪市の制度としてインセンティブ予算という制度がありまして、こういったような形で、再編を進めていく場合、きちっと教員の加配を取っていくことができるというふうな制度になっておりますので、私どもとしてはここはきちっと、区役所として確保していくべく、きちっと対応していきたいというふうに思っておりますし、今現在そういうふうに対応しようと考えております。

⑭ (本田地域の方)

・僕、勘違いして、来年度の入学の子は、ここで卒業できるんやと思って、11年からさっき言われたように6年生の時に転校するってことなんですよ。今回それはどういうふうに説明されてるんですか。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・はい、失礼いたします。具体的なこういった令和11年4月であるとか、こういったような説明というのは、この、今日から学校説明会でお話をいたします。あと、2回目、3回目の学校説明会を、来週行ってまいります。ただ、今のこのご説明、説明会での説明を聞いた上で、もし来年、新入生をお持ちの保護者の方が、今、学校選択制こっちの学校にしようと思ったけれども、あっちの学校にしようかなあというふうなことであれば、今ちょうど11月の14日

から11月の20日までですけれども、来年度の新入生の学校選択も、一度選択をしておられる学校を変更する手続きというのを、11月20日まで期間を設けておりますので、もしそういった変更ということであれば、そういった形での手続きをお願いしたいというふうに思っております。具体的に今回お示しするのは、この場では今日からが初めてということでございます。

(本田地域の方)

・1月とか2月に入学説明会っていうのがあると思うんですけど、その時点で、説明はされる方向で考えてるってことなんですか。来年度の入学の場合は、変更があるっていうことを、告知するってことですか。今の話やったら、もう九条東がそうやから、入らんほうがいいですよって言うてるように聞こえますけど。今のね。転校ありき、あるからやめたほうがいいですよ。別んとこ受け付けますよっていう話じゃないすか今の。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・すみません、失礼いたします。ちょっと私の説明ぶりがよくなくて申し訳ございませんでした。制度上、11月20日までに変えることができますというふうに申し上げましたけども、私も先ほども申し上げて恐縮ですけれども、私どもとしては、いろんな、この間、今日もご質問いただいております教員の加配に関することのご質問があつてですね、教員の加配というのをきちっと確保していくために、今私どもとして取り組んでおりますし、今後とも統廃合まで取り組んでまいりますので、私どもとしては、きちっと、今、統廃合になるまで、なったとしてもなるまでの間、九条東小学校をきちっとお選びいただけるような環境を作りたいと思っておりますので、引き続き九条東小学校、学校選択制の選択の一つとしてお選びいただきたいなというふうなことを思っておりますので、先ほど何か学校選択をすることを前提に申し上げたわけでございますので、私の説明として補足をさせていただきました。

⑮ (地域の方)

・教育委員会の方が、先ほど8名とかその辺やったら音楽の授業とか成り立たへんでしょっていうことをおっしゃったんですけど、私、支援学校で勤めていて、音楽の教員なんです。8人とか7人とかそんなんでも十分授業が成り立ってますし、合奏もやってますし、合唱もやってます。なので、それが成り立たないというふうに、決めつけて言われるのはすごい心外やなというふうに思いました。それから、うちの子1年生なんで、学校に入って一番大きな行事がこの間運動会で終わったとこなんですけど、私、仕事柄いろんな学校の運動会

見てきましたが、ここの生徒はなんてイキイキして、一生懸命やって、こんな人数少ないのに、その人数の少なさを感じさせないような盛り上がり方で先生方の工夫とか、そんなのもあって、すごい素晴らしい学校やなというふうに感動したんです。だから、減っていったからなくしましょうじゃなくって、増やしていきましょうという努力をなぜされないのかなあというのがもう疑問で仕方ないです。すみません、以上です。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・すみません。失礼いたします。繰り返して申し訳ございませんけれども、この九条東小学校の校区に今お住まいの未就学の方の子ども数とか状況を、私ども把握をしておりますと、どうしても大阪市の条例で決まっております、12学級からという、11学級未満については、再編整備計画を、というふうなことになるがございます。そもそもお住まいの方の数が、なかなかそういうふうに、安定的に12学級以上超えていくような子ども数になっていないというふうな状況もございます。なおかつ、今の現状ではございますけれども、学校選択で、九条東小学校を選ばれてる方っていうのもあまりいらっしゃらなかったりとか、そういったような状況もございます。そういったこともございまして、私ども運動会は今年の運動会も拝見をしておりますけれども、やはり、これから大阪市の考え方としまして、力強く生き抜いていって、未来を切り開く力を蓄えていくそういう人材を育てていきたいというふうに、そういう目標を掲げて、大阪市の教育全体が今そういうふうに進めようとしております。

中学校或いは高校或いはどんだんいろんな方と、いろんな地域と、関係ない方と、子どもはいろんな触れ合っていく、いうふうなところになる中で、やっぱり西区役所としても、一定、いろんな子どもたちと同じ教室、同じ環境の中で触れ合っていけるような環境というのは必要なんじゃないかなというふうに思って今回提案をさせていただきました。ご意見としてちょうだいさせていただきました。ありがとうございます。

⑩ (九条東地域の方)

・先ほどちょっとお話をお聞きしてて、最後私質問させていただいたことがちょっとわからなかったのが、やはり、ちょっとありまして、再編成ですね、11年4月予定となって、あくまで予定ですっておっしゃってるんですが、これは、予定が変わることってあるんでしょうか。まだ下の子入学させる予定なんですけれども、あくまでも予定とはおっしゃってるんですが今のお話でいくと、もう決定事項のように話が進んでいってるような気がします。ここは、今説明会ってなってますが、意見を聞くというよりは、決定事項をお話されてるような感

じでちょっと受け取ってしまいます。やはりですね、この予定がずれることはなく、来年次の新生にですね、もう11年4月に再編成をいたします。で、学校の選択制今から変更されたい方はどうぞっておっしゃってるようなことではないとおっしゃってましたが、話の内容的には、11年度4月に再編成をする、廃校にすることありきで、話を進めていらっしゃるように思います。

そこに関して反対意見が強くあることに対して、どのように対応されるのでしょうか。もし、ずれるようなことがあれば、例えば、来年度、再来年度入学したものでも、東小で卒業できるのかどうかということと、もうそれはもう絶対ないと、11年4月ありきで話を進めるということなのかどうかをちょっと確認させていただきたいです。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・はい、ご質問ありがとうございます。先ほども申し上げて恐縮ですがけれども、この、今、このペーパーでご説明した案というのは、区役所の案ということでございます。大阪市の案ということではまだなっております。素案ということでございます。皆様方のこういったいろんなご意見とかも聞きまして、よりよい計画案とはしていきたいというふうに思っております。

大阪市としての案というふうになった場合、次は議会に、必要な予算、例えば、教員の加配のための人件費の予算でありますとか、今後ですけれども、この案でしたら、その校舎を増築していくための設計とか工事費の予算であるとか、そういったことを、これから、その令和11年までの間に毎年計上していくというふうな作業があります。そこで、市議会の方から了解をいただくというふうなこともございます。なので、私ども区役所の案として、令和11年4月予定というふうには書かせていただきました。私どもとしましては、この案で皆様からのご意見もお聞きをして、よりよい計画案としていきたいというふうには思っております。まだ、あと2回住民の皆様の説明会がありますので、そういったお話も聞きながら、この区役所の案を大阪市の案というふうにしていくかどうかというふうなことで考えてまいるところでございます。今、来週も含めて、ご提示させていただく区役所の案は、もうここにお示しをした通りでございます。令和11年4月に統合していきたいと、いうふうな思いはございます。以上でございます。

(九条東地域の方)

・すみません。では、申し訳ないです。この説明会で意見が出たことを一応考慮していただいて、西区としての意見が変わることはあるんでしょうか。やはり、意見としては受けとめますが、もう11年4月というのは変わらないとい

う認識でよろしいでしょうか。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・失礼いたします。あと2回住民説明会等もありますので、またいろんなご意見とかをちょうだいするのではないかなと思っていますので、今、ここで何か決定であるというふうに申し上げることはできませんけども、この住民説明会、来週の説明会も含めて、区役所として考えている思いとしてはここに書かせていただいている案ではございます。

⑰ (九条東地域の方)

・何度もすみません。一応、生徒数が増えたら、学校の統合はなくなる可能性があるという判断で、では、親が生徒を集めるために、西区内で、こういう小学校ですよであったり、先ほど運動会のお話等だったり、そういう広めるような活動っていうのは、やっても大丈夫なんですかね。それは駄目なんでしょうか。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・すみません、失礼いたします。特に、西区役所の方から何かそういった今のご質問に対して、何か区役所としてこうであるというふうにお答えするような内容ではないのかなというふうに思っておりますけども、ただ、今、私どもとしては、現状或いは、今校区にお住まいの未就学の方の子ども数の状況を見て、このような案ということでお示しをさせていただいてます。以上でございます。

(九条東地域の方)

・じゃあ、例えば動画をユーチューブにアップして、親がお話をするであったり、そういったことは別に問題がないという判断でよろしいですかね。個人的に。

(玉置 西区役所教育担当課長)

・失礼いたします。特に、個人的にっていうふうなことでご活動されることについて、西区役所として何かをというふうなお答えするということはございません。以上でございます。

(九条東連合振興町会)

・個人であることを止めたら、役所が憲法違反になるから、個人であればできます。

(司会)

・ではこれもちまして質疑応答を終わらせていただいでよろしいでしょうか。では、最後に区長からごあいさつがございました。

(三村 西区長)

・はい、区長の三村です。本日は、長時間にわたり様々なお質問ご意見本当にありがとうございました。この質疑、やり取りで、皆さんが本当に心配されてるというのもよくわかりますし、地域への熱い思いというのもよく理解したところ、改めて理解したところでございます。今回提示させていただいた、統廃合といいます再編のプランというのは、様々ご意見あるかと思えますけれども、私どもとしては、この現状をかんがみ、また、将来像を描く中で、最善の策ではないかなど、こういうふうにした次第でございます。今日いただいたご意見を、もう一度いろいろ検討しながら、また案を作っていくというふうに思っております。この後2回説明会がございますので、その場でもまた意見をいただきたいと。それから、メールも受け付けておりますので合わせてメールもいただければというふうに思います。それと、あと私の方から改めて申し上げますけれども、この案が確定して、その後の跡地をどうするかという問題については、まだ先の話にはなりますけれども、地域コミュニティーの拠点であったり、防災拠点であったりとかということで、地域にとって非常に大事な施設であるということは十分認識した上で、こういった活用がいいのか、地域の方々を含めた会議体を立ち上げて、そこで形を決めていきたいというふうに思っています。あわせて統合後の学校の姿をどうしていくかということについても、統合後の地域の方々、それから、PTAの方々とともに、これも同じようにまた別の会議体を立ち上げて形づくりをして、よりよい学校にしていきたいということで、検討して参りたいというふうに思っております。

先ほどもこれが最終案なんですかみたいなお話をお伺いしましたけれども、現状では、我々としては、この案が最善かなというふうに考えてはおるところです。この後、今日の意見、繰り返しますけど、今日のご意見、それから、あと2回いただいたご意見を踏まえながら、区長としても、教育担当の次長としても、方針案を固めていきたいと、こういうふうに思っておりますので、よろしくお願ひします。また、皆様方の積極的なご意見をちょうだいしたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。今日は、長時間本当にありがとうございました。